

50歳以上の帯状疱疹予防接種費用を助成します

「帯状疱疹」は、子どもの頃にかかった水ぼうそう（水痘）の原因である「水痘・帯状疱疹ウイルス」が引き起こす病気です。過労やストレスなどによる免疫力低下などが原因で発症し、50歳以上から発症率が高くなると言われていています。50歳以上の市民を対象に、帯状疱疹予防接種（任意接種）の費用の一部助成を行います。

●**対象者** 接種日に大野城市に住民登録がある満50歳以上の人（同様の接種費用助成を他自治体から受けたことがない人）

●**対象期間** 令和5年4月1日(土)～令和6年3月31日(日)までの接種分

●**実施医療機関** 帯状疱疹予防接種を実施している医療機関であれば、全国どこでも接種可能です。実施医療機関かどうかについては、各医療機関へ問い合わせてください。



詳しくはこちら
(本市ホームページ)

●**申請方法**

帯状疱疹予防接種を接種後、次の①～④を健康課（すこやか交流プラザ内）に提出してください。（郵送可）

①大野城市帯状疱疹予防接種費用助成金交付申請書兼請求書

※様式は市ホームページ、健康課（すこやか交流プラザ内）にあります。

②接種した医療機関が発行した領収書および明細書の写し

※予防接種の種類、予防接種を受けた人の氏名、接種日が確認できるもの

③申請者および対象者（申請者と異なる場合に限る。）の本人確認書類（運転免許証、健康保険証など）の写し

④振込口座の確認ができるもの（通帳、キャッシュカードなど）の写し

●**申請期限** 令和6年3月29日(金)

[期日までの申請が難しい方は必ず下記問い合わせ先まで事前に連絡してください]

●**帯状疱疹予防接種の種類**

	乾燥弱毒生水痘ワクチン【生ワクチン】 (製品名：ビケン)	乾燥組換え帯状疱疹ワクチン【不活化ワクチン】 (製品名：シングリックス)
接種回数	1回	2回（2～6カ月後に2回目）
接種方法	皮下注射	筋肉内注射
接種費用	1回当たり7000円～1万1000円程度	1回当たり2万円～2万3000円程度
有効性	50～60歳で69.8%の予防効果が認められ、免疫の持続期間は、接種後約5年程度とされています。	50歳以上で97.2%、70歳以上で89.8%の予防効果が認められ、免疫の持続期間は接種後約9年程度とされています。
副反応	注射部位の発赤、かゆみ、熱感、腫れ、痛み、硬結、全身症状として倦怠感、発疹など。非常にまれにアナフィラキシー、血小板減少性紫斑病、無菌性髄膜炎など重篤な副反応が現れることがあります。	注射部位の痛み、発赤、腫れ、胃腸症状、頭痛、筋肉痛、疲労、悪寒、発熱など。非常にまれにアナフィラキシーなど重篤な副反応が現れることがあります。
他の予防接種との接種間隔	他の生ワクチンとは接種前後27日以上の間隔が必要です。また、新型コロナウイルスワクチンとは接種前後13日以上の間隔が必要です。	新型コロナウイルスワクチンとは接種前後13日以上の間隔が必要です。

※厚生労働省ワクチン分科会資料、予防接種に関するQ&A集、ワクチン取扱説明書・添付文書より

●**助成回数・助成上限額**

助成回数	1回のみ	2回のみ
助成上限額	4000円/回 ※接種費用が4000円未満の場合はその額	1万円/回 ※接種費用が1万円未満の場合はその額

●**申請と問い合わせ先** 健康課健康長寿担当 [〒816-0931 瓦田4-2-1 すこやか交流プラザ内] ☎(501)2222